

病害虫発生予察情報
9月月報

令和7年10月10日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2025 年 9 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均					
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
上旬	33.4	3.7	24.3	2.8	28.3	3.1	88.0	110.1	71.5	148.0
中旬	31.2	3.4	23.1	3.4	26.4	3.0	100.5	116.5	31.1	71.5
下旬	29.6	4.4	20.0	2.8	24.3	3.5	0.5	0.6	62.2	161.6
平均	31.4	3.8	22.5	3.0	26.3	3.2				
合計							189.0	76.6	164.8	126.6

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：高気圧に覆われて晴れや曇りの日が多くなったが、期間の中頃には台風第15号の影響で雨が降り5日は大雨となった。また、期間の終わりにも前線の影響で雨が降り8日は雷を伴った。

中旬：前線の影響により曇りや雨の日が多くなった。期間の中頃は高気圧に覆われて晴れの日があったが、11日と18日から19日にかけては、前線や上空の寒気の影響で大雨となり雷を伴った。なお、11日には一時間降水量で世田谷は92mm、羽田は88.5mmを観測し、いずれも観測開始以来の1位となった。

下旬：期間のはじめに前線や湿った空気の影響で雨が降った日があったが、その他は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。

2 作物生育概況

（1）イネ

生育は順調で、15日ごろから収穫が始まり、作柄は平年並であった。

（2）野菜類

果菜類：エダマメで発芽不良、生育弱勢、不結莢がみられるなど、露地品目の一部で夏季の高温・乾燥の影響が残った。

葉菜類：ブロッコリーやキャベツでは脇芽の発生がめだった。コマツナの一部で発芽不良がみられた。

根菜類：ニンジン、ダイコン等では高温回避のため播種期を遅らせた結果、生育が遅れ気味となった。

イモ類：サトイモは高温・乾燥の影響をひきずり、生育不良がみられた。サツマイモの生

育は平年並であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：‘巨峰’の収穫終わりは平年値より15日早かった。

‘巨峰’収穫終 9月4日（-15日）

ナシ：収穫終わりは、平年値で‘幸水’は平年並みであった。‘豊水’は4日遅く‘稲城’は7日早かった。

‘幸水’収穫終 9月1日（+1日）

‘豊水’収穫終 9月19日（+4日）

‘稲城’収穫終 9月1日（-7日）

(4) 茶樹

チュウゴクアミガサハゴロモが散見されたが、大きな被害には至っていない。生育はおおむね順調で、例年より秋の新梢の伸びが大きい。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病	<やや少>	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	<やや多>	発生はやや多かった。
ヒメトビウンカ	<やや少>	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	<やや少>	発生はやや少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病虫害

ナシ		
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
果樹共通		
カメムシ類	<やや少>	発生はやや少なかった。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	<やや少>	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	<やや少>	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	<やや少>	発生はやや少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 多 >	発生は多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。

サトイモ

ワタアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セスジスズメ	< 並 >	発生は平年並みであった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラヤガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並みであった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺あり>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。